

御所東小学校校歌

作詞 山本純子 / 作曲 平田あゆみ

鴨の流れに
息づくいのち
季節のめぐりを
探しに行こう
こころはいつも
ふしきを求めている

日々の学びの
一つ一つが
大きな夢へ
つながっていく
流れがいつか
海へ届くように
力合わせて
解き明かせば
きっと美しい
未来は
みんなで

御所東小学校

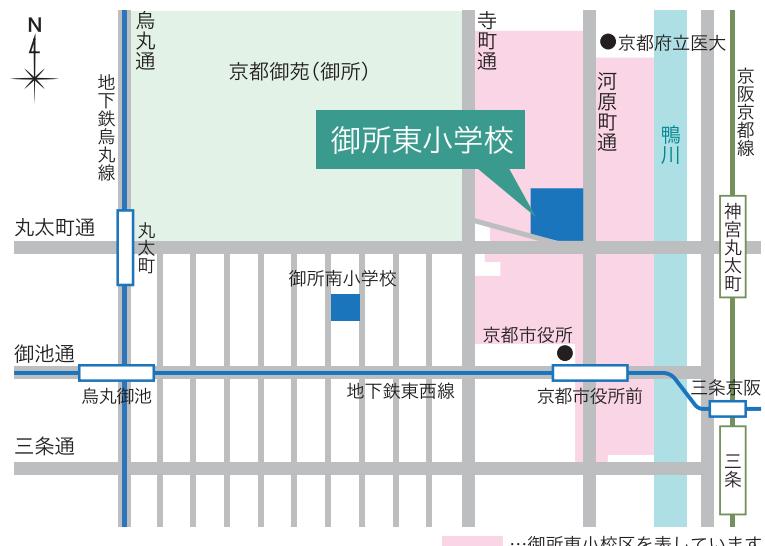
御所東小学校
世界へ
一步ふみ出そう
御所東小学校
この場所から
朝日を
浴びて輝く

校章



御所東小学校を象徴する「桜」のまわりを東
を守護するという「青龍」が取り囲むデザ
インです。地域とともに子どもを健やかに育む
学校でありたいとの思いを表しています。

デザイン：梅林敬藏



京都市教育委員会事務局

御所東小学校開設準備室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池通上ル上本能寺前町 488

TEL:075-222-3801 FAX:075-231-3117

京都市立 御所東小学校

学校案内

平成 30 年 4 月開校





地域と共に 新しい時代にふさわしい教育の創造をめざします

御所東小学校は、平成 30 年 4 月、御所南小学校から独立し、春日・銅駄学区の新しい小学校として開校します。

春日・銅駄学区は、明治維新の東京遷都による、まち衰退の危機の中、「まちづくりは人づくりから」と町衆たちが私財を出し合い、明治 2 年に我が国最初の学区制小学校(番組小学校)を創設した歴史を有しています。以来、両学区には「地域の子どもは地域で育む」伝統が脈々と受け継がれています。

この伝統を今に生かし、教育構想検討の当初から、地域の方々の参画を得て、新しい小学校づくりに取り組んできました。その中で示された地域の方々の願いは、「御所東」から「世界」へ羽ばたく、次代を担う、輝きに満ちた子どもたちの育成にありました。

地域の方々の願い、その実現に向け、御所東小学校は御所南小学校において保護者・地域の方々の信頼を得てきた教育実践を受け継ぎつつ、京都御池中学校区の小学校として、小中一貫教育を基盤に地域の皆様と共に、新しい時代にふさわしい教育を創造してまいります。

※京都では、文部省設置（明治4年）、学制発布（明治5年）に先立つ明治2年に、春日・銅駄を含む 64 の番組小学校が創設されています。



● 御所東小学校 教育方針

夢に向かって輝く未来を創る子どもの育成

これからの時代を担う子どもたち。子どもは社会の宝、地域の未来です。

子どもたちが生きるこれからの社会は、想像を超えたスピードで変化し続けることが予想されます。これからの社会がどのように変化しようとも、自分を発見し、仲間と共に、夢の探究に向かって未来をたくましく切り拓いていくことができるよう、御所東小学校は、「確かな学力」「国際社会で生きる力」「豊かな人間性・体力」を育む教育をめざします。

多様化していく社会の中で、そのような力を育てるには、家庭はもとより地域の方々との連携・協働が欠かせません。よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を共有し、子どもたちの限りない可能性を見守りながら、子ども一人ひとりに未来を創り出していくために必要な資質・能力を育みたいと考えます。

御所東のめざす子ども像

【探究する子】

自ら探究する子どもを育てます。

Why? なぜ、こうなっているの?

What? 何をするか? 私がやることを考え

How? いかにするか? を仲間と共に探究し学ぶ。

このような学びは感動を生み、次の学びへの原動力につながります。

【挑戦する子】

自らの可能性を最大限に發揮できる子どもを育てます。

探究する喜びを知ると、主体的に新たな課題に挑戦する姿勢が育まれます。

課題解決には個々の創造性が、国際社会においてはとりわけコミュニケーション力が必要となります。

挑戦する姿勢は未来を創り出す力を育てます。

【やさしく、たくましい子】

「自然にやさしく、人にやさしい人が強い人」を目標に、強くたくましい心と体を育てます。

多様な考えを認め、人と共に生きていく喜び、社会で役立つ喜びを自らの喜びとする子どもを育てます。



夢に向かって未来をつくる

めざす教育 – 3つの柱と9つの重点 –



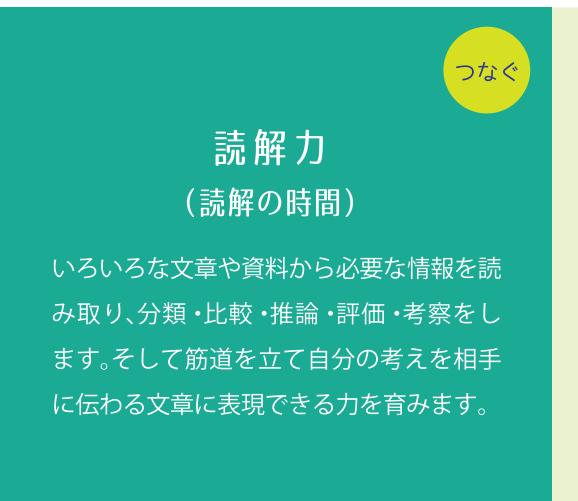
確かな学力を 育む教育

深い
学び

論理的思考力

(主体的・対話的で深い学び)

全ての教科等で、課題に対する自らの考えをグループや全体で話し合い、自らの考えを高めたり、深めたりします。このような学習過程の中で論理的思考力を育みます。



読解力

(読解の時間)

いろいろな文章や資料から必要な情報を読み取り、分類・比較・推論・評価・考察をします。そして筋道を立て自分の考えを相手に伝わる文章に表現できる力を育みます。

生き方

探究力

(総合「みらい」)

地域を探検したり伝統文化や伝統産業、また、職業等を実際に体験したり、主体的、創造的に仲間と共に取り組むことで探究力を育み、自己の生き方を考えます。



国際社会で 生きる力を 育む教育

深い
学び

英語コミュニケーション力 (外国語科・外国語活動)

1年生から英語教育を始めます。英語でやりとりをする中で、相手の思いを理解し自分の考えを表現できる発信力、即興力を育みます。



プレゼンテーション力の基礎 (English Time)

英語でスピーチやプレゼンテーションをするための語彙や表現を身に付けます。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育みます。

生き方

国際理解 (総合「こくさい」)

外国人との交流を通して外国の生活や文化にふれたり、調べたりして国際理解を深めます。日本文化との違いを知ることで、違いを超えてつながる感動を実感します。



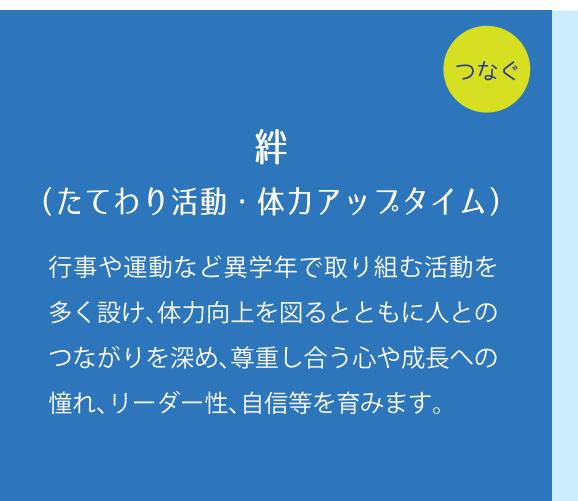
豊かな 人間性・体力を 育む教育

深い
学び

読書力

(読書タイム)

「主人公は誰か?」「好きな場面は?」「あなただったらどうする?」などの観点に沿って本を読み、友達と意見交流し、異なる考えを知ることで読書力を高めるとともに想像力や豊かな心を育みます。



絆 (たてわり活動・体力アップタイム)

行事や運動など異学年で取り組む活動を多く設け、体力向上を図るとともに人とのつながりを深め、尊重し合う心や成長への憧れ、リーダー性、自信等を育みます。

生き方

共に生きる (総合「こころ」・道徳)

地域の自然や幼児、高齢の方、障害のある方とふれ合い、生きる姿を見つめる総合「こころ」や考え、議論する「道徳」を通し、よりよく生きる喜びや共に生きる態度を育みます。

変化の激しい社会を生きていくには、知識を課題解決に生かす力が必要です。そのため、
 ① 生きて働く知識・生きて働く技能の習得
 ② 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を重視し、さらに学びの質を高めるために「アクティフ・ラーニング」を進め、主体的な学び、対話的な学び、深い学びを通じ確かな学力を育みます。

国際化が急速に進む現代社会にあって、日本の中の京都、京都の中の御所東で学ぶ自分を知り、京都の歴史や自然、伝統文化に親しみ、誇りをもって生きることこそが国際社会でたくましく生きることと考えます。英語を「伝えるための道具」、「コミュニケーションの道具」として学びます。そして自分の考えをしっかり伝えることを学びます。また国際交流、異文化交流から、違いや多様性を認め、他者を尊重するこころを育てます。そして世界の人々と共に手を携え国際社会で活躍する力を育みます。

夢に向かって輝く未来を創る子どもたちを育てるには、学力はもとより豊かな感性、創造性、人間性、そしてそれを支える体力が必要です。豊かな感性や創造性を育むためには、豊かな体験や素晴らしい経験が必要です。成長や感受性は個々に違いがあります。生活のさまざまな場面で子どもたちの感性や創造性を揺さぶる多くの機会をつくるためには、家庭や地域の協力が必要です。美しいものに触れ美しいと感じるこころ、尊いものに触れ感動するこころを大切に育てていきます。そのためにも心身の健康を第一に、学力と共に高めていきます。



ICT の活用 –これからの未来に向けて–

タブレット型パソコン、書画カメラや電子黒板等の ICT 機器を積極的に活用します。様々な学習の場面に応じ使用することで学習指導の充実を図ります。

プログラミング教育

プログラミング教育とは、コンピュータ操作を通して、論理的に考える力を育む教育をいいます。自分の意図する一連の目的を実現するには、どのような動きが必要で、どのような組合せが有効か、子どもたちが論理的に計画していくけるよう育みます。



教育の内容の充実に向けて

御所東小学校では、お二人の専門家にアドバイザーに就任いただいています。



ジェフ・バーグランド先生
(京都外国语大学教授)

アメリカ合衆国出身。昭和45年から同志社高校で教鞭を取られ、平成21年から現職。専門は異文化コミュニケーション。京都国際観光大使。銅駄学区在住。



高田秀志先生
(立命館大学教授)

京都大学大学院修了。情報学博士。平成 23 年から現職。子ども向けの教育支援にも取り組み、春日・銅駄学区児童を対象とした「プログラミング教室」に関わっています。

お二人の先生には、開校後も継続的に教育内容への助言をいただく予定です。

小中一貫教育 OGGTプロジェクト

(京都御池中・御所東小・御所南小・高倉小)

京都御池中・御所南小・高倉小と共に進める小中一貫教育
5・4 制による9年間の「学び」と「成長」



京都御池中学校区では、平成17年度から京都市小中一貫教育特区の指定を受け、義務教育9年間の一貫した教育を推進してきました。平成19年度からは6年生が京都御池中学校の校舎で、中学校教員と小学校教員の連携による授業を受けています。

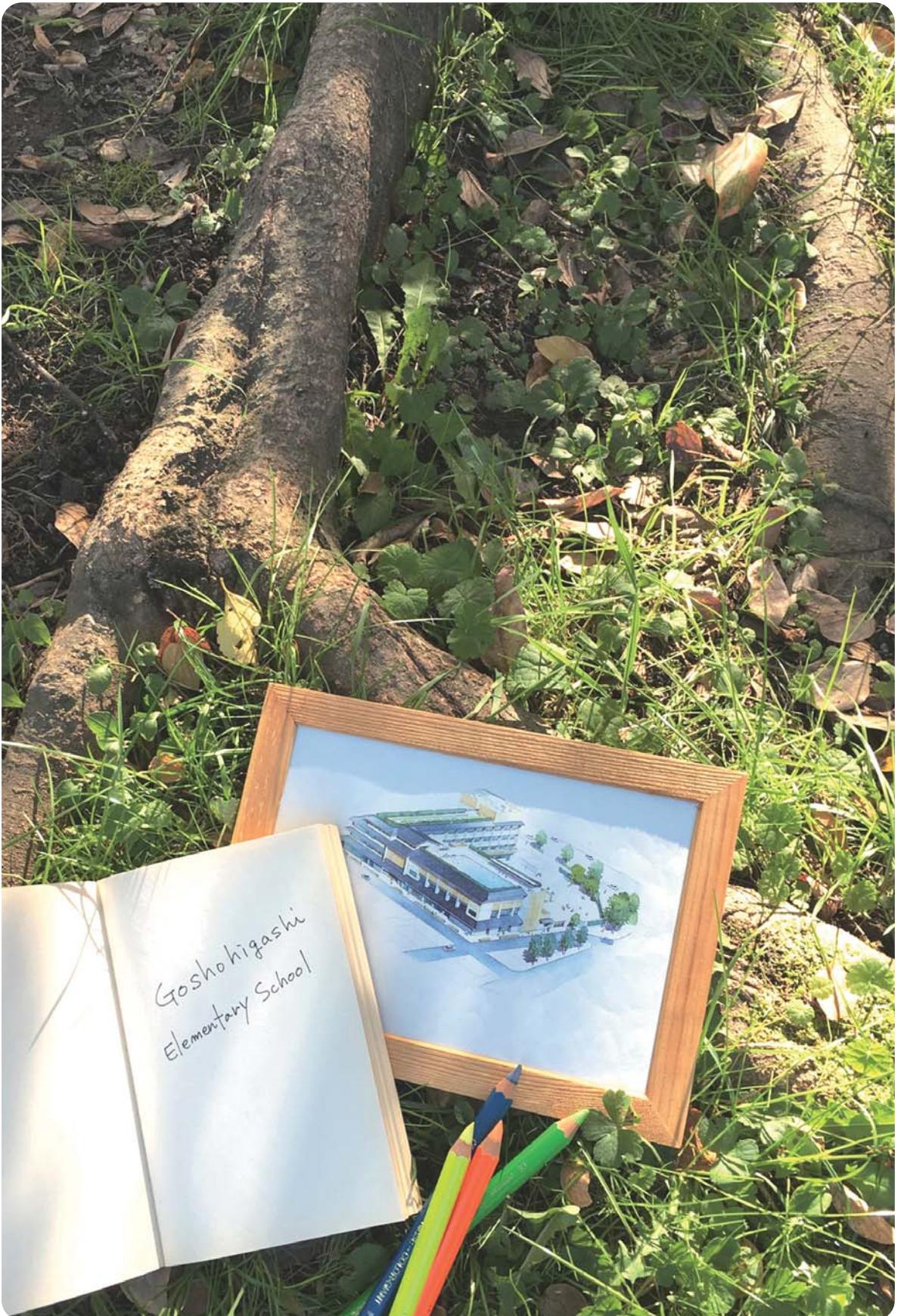
御所東小学校は京都御池中学校区の小学校として5・4制による小中一貫教育を推進し、その目標を「未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造」としています。中心となる「OGGT小中一貫教育プロジェクト」では、これまで進めてきた読解力の育成を柱に、互いの取組の情報を交換したり、小中9年間の児童・生徒のよりよい学びと育ちについて協議したりするなど、創造的な活動を展開していきたいと考えています。



読解の時間

「読解の時間」では、いろいろな文章や資料から情報を収集、抽出、選択し、筋道立てて考えたり判断したり、解釈・評価したりします。そして、自分の考えが相手に伝わるように表現する力をつきます。これは全ての教科等の学習の基盤となるもので、教科等とも関連させて取り組んでいきます。





総合的な学習の時間

発見・探究・感動の総合「みらい」

かかわり・探究・感動の総合「こころ」、総合「こくさい」と題し、学習します

「総合的な学習の時間」では、“ほんまもん”に出会う機会を多く設け、実際に体験し、探究的な学習活動を通してよりよく課題を解決し、探究力を育むとともに自己の生き方を考えます。そして、自分の未来を創造できる教育として取り組んでいきます。

	総合「みらい」	総合「こころ」	総合「こくさい」
3 年生	「わたしたちのまち ひかりの京」 京都らしさやそのよさを感じる体験を通して、京都の魅力、自分がくらす御所東のまちの魅力とは何かについて探究する。	「ふしぎ発見！御所の森」 京都御苑の自然にふれ、自然のすばらしさや不思議を実感し、自然の力やその中で生きることを考える。	「おとなりの国と なかよしプロジェクト」 お隣の国と日本のかかわりについて学ぶ。生活・言語・食だけでなく人と人のつながりを感じる。
4 年生	「わたしたちの高瀬川」 高瀬川や高瀬川に携わる人とのふれあいを通して、川と環境、それらと自分のかかわりについて探究する。	「やさしさ発見！ 御所東の町」 高齢の方との出会いを通して、その生活や知恵について知ったりその人の思いを考えたりする。	「世界の国と つながろうプロジェクト」 世界の国の文化を知る体験を通して、日本の文化や魅力について考える。そして、文化を通して人と人とのつながりを感じる。
5 年生	「未来のわたし あこがれの働き方」 「働く」ことについて考えることを通して、これから大切にしていきたい信念や思いを行動に表すことを考える。	「匠のこころ」 伝統工芸に携わる人の仕事に向かう姿勢から、伝統を守り伝えるこころについて考える。	「地球の平和 応援プロジェクト」 世界の国や世界の中の日本について知り、平和について考えることを通して、人と人とのつながりや自分にできることについても考えていく。
6 年生	「わたしと伝統文化」 伝統文化を支える人々の生き方や姿勢から、昔から大切にされてきた日本の心、今も生きる日本の心とは何かについて考える。	「共に生きるこころ」 障がいのある方との出会いを通して、さまざまな立場から「生きる」ことを見つめ直し、考える。	「I Have A Dream 自分応援プロジェクト」 日本だけでなく世界で活動する人と出会い、その考え方や生き方から、自分の可能性を考える。

人々の生き方に学んだことから、「共に生きる」ことについて考えたり、
自分の生き方を見つめたりして、自分の未来を考えよう。

総合的な学習の時間(70時間)を総合「みらい」40時間、総合「こころ」20時間、総合「こくさい」10時間とします。

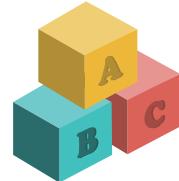


主な施設と設備



御所東小学校では、
教育内容をより充実させるための教育環境を整備します

メディアセンター（2階）



御所東の教育方針を具体化した特色ある施設とし、
以下の3室をまとめて「メディアセンター」とします。



ENGLISH ROOM（仮称）

ここは英語でコミュニケーションを楽しむ英語満載の空間です。
英語の絵本や図書、DVD、大型電子黒板を設置します。



コンピュータ室（学習情報センター）

タブレット型のパソコンや大型電子黒板を設置します。

図書室（読書センター）

約8000冊の図書を配架。物語の他、事典や辞書類、
調べ学習や探究活動に必要な図書を充実させます。
京都関連の図書コーナーや大型電子黒板を設置します。



このメディアセンターでは創意
あふれる教育活動を展開します。
例えば図書とコンピュータを駆使した「探究活動」。その成果を大型電子黒板やタブレットを使って発表する「プレゼンテーション」。インターネットで世界の人々とつながる「異文化交流」など、施設機能を最大限に活用した教育活動を実施します。

その他の主な施設・設備

木材を最大限利用し、温もりのある学習環境を整備します。
外観は伝統と歴史ある地域に調和したものとします。





夢に向かって未来をつくる [1DAY]

学校生活の一日
一日のはじまりは
「あいさつ」から

時間割【5年生例】						
予終	月	火	水	木	金	
8:25	朝の会					
8:30						
8:35	朝学習	読書タイム	English Time	English Time	English Time	読書タイム
8:50						
9:35	1	国語	外国語活動	総合「こくさい」	読解の時間	国語
9:40	2	社会	算数	総合「こくさい」	国語	音楽
10:25	中間休み					
10:45						
11:30	3	道徳	理科	算数	図画工作	体育
11:35	4	算数	国語	体育	国語	算数
12:20	給食					
13:00	昼休み					
13:20	掃除					
13:35	昼学習	体力アップタイム	算数タイム	体力アップタイム	漢字タイム	体力アップタイム
13:50	5	体育	図画工作	国語	算数	国語
14:35	6	帰りの会	社会	理科	帰りの会	学級活動
15:20	帰りの会					
15:30						

※木曜日は、月2回程度6時間授業とします。

時間割【3年生例】						
予終	月	火	水	木	金	
8:25	朝の会					
8:30						
8:35	朝学習	読書タイム	English Time	English Time	English Time	読書タイム
8:50						
9:35	1	国語	外国語活動	総合「こくさい」	読解の時間	国語
9:40	2	社会	算数	総合「こくさい」	国語	音楽
10:25	中間休み					
10:45						
11:30	3	道徳	理科	算数	図画工作	体育
11:35	4	算数	国語	体育	国語	算数
12:20	給食					
13:00	昼休み					
13:20	掃除					
13:35	昼学習	体力アップタイム	算数タイム	体力アップタイム	漢字タイム	体力アップタイム
13:50	5	体育	図画工作	国語	算数	国語
14:35	6	帰りの会	社会	理科	帰りの会	学級活動
15:20	帰りの会					
15:30						

◆時間割は、平成30年度の暫定版です。
◆時間割は、週ごとに変わります。



平成30年度（2018年度）予定

- 始業時刻 午前8時30分
- 1校時45分授業（1年から6年）（1単位時間45分）
- 「朝学習」8:35～8:50と「昼学習」13:35～13:50を実施します。
- クラブ（4～6年生）・委員会活動（5～6年生）について
 - ・活動内容は、開校年度にお知らせします。

外国語（英語）教育について

*次期学習指導要領は平成32年度から完全実施ですが、外国語（英語）教育については、平成30年度から先行実施となります。御所東小学校では、平成30年度から以下のとおり実施します。

- ◆5・6年生は、「外国語活動」として、年間70時間。（現状35時間+35時間）<次期学習指導要領の方向性>（平成32年度から「外国語科」となります）
- ◆3・4年生は、「外国語活動」として、年間35時間。<次期学習指導要領の方向性>
- ◆1・2年生は、「英語活動」として、独自に年間20時間。
- ◆全学年「English Time」として朝学習の15分週3コマ。

*英語教育についての詳細は、平成29年度に文部科学省より提示がある予定ですので、改めてお知らせします。

「読解の時間」について 全学年

- ◆読解力につけるための「読解の時間」は、年間15時間を特設。
- ◆読書力につけるための「読書タイム」は、朝学習の15分週2コマ。

「チャレンジの時間」について

- ◆昼学習を「チャレンジの時間」とします。
 - ・体力向上のために、「体力アップタイム」とし、ランニングや縄跳び等をします。
 - ・昼学習の15分週3コマ。
 - ・計算や漢字の学習を昼学習の15分週2コマ。

「課外」について

- ◆「土曜学習」を実施。
- 「英語教室」「読解教室」等を予定。
- ◆放課後の活動
 - 「放課後まなび教室」を実施。



夢に向かって未来をつくる [1YEAR]

学校生活の一年

三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月
卒業式 修了式 六年生を送る会	新一年生半日入学 「きずな集会」	図画工作展	音楽鑑賞教室（五年） 始業式	科学センター学習（六年） 終業式 「きずな集会」 冬休み	Oikeフェスティバル（六年） 運動会	「花背山の家」長期宿泊学習（五年） 演劇鑑賞（六年）	自由研究作品展	始業式 終業式 「きずな集会」 夏休み サマースクール	「みさきの家」宿泊学習（四年） 「きずな集会」	「修学旅行」（六年） 「きずな遠足」（全学年）	始業式 入学式 一年生を迎える会

平成30年度からは全市で3学期制を導入する予定です。

特色ある 学校行事

宿泊学習

- 4年生「みさきの家」2泊3日。5年生「花背山の家」3泊4日。
6年生「修学旅行」1泊2日。御所南小と合同で開催。
- 宿泊学習の目的
自然に親しむ。友達との協力活動。信頼の構築。切磋琢磨し責任を果たす。挑戦する姿勢。また、御所南小と合同で行うことで中学校への段階として親睦を深める。

きずな遠足

- 5月に全校遠足を実施。高学年がリーダーとなる縦割りグループで活動。
- 異学年交流での活動目的
遠足という日常と違った環境での異学年との交流。
御所東の絆づくり。よき仲間の構築。学校づくりへの意識向上。望ましい集団行動。

たてわり活動

- 「1年生を迎える会」、「6年生を送る会」、日常の清掃活動、給食、読書、運動会において、高学年のリーダーの企画・運営のもと学年を超えた縦割りグループによる活動。
- きずな集会では、縦割りグループでゲーム集会や音楽集会などを児童会が中心となり企画・運営。
- たてわり活動の目的
御所東小の子どもたちの絆を深める。よりよい学校づくり。学年を超えて認め合う。尊敬しあえる仲間づくり。

みらい表現発表会

- 生活科や総合「みらい」、総合「こころ」、総合「こくさい」で学習したことを表現発表する。
- 表現発表会の目的
発表に向かうことで学びの質の向上を図る。互いの発表を知る。保護者や地域の人々に発表することで伝わる工夫をする。

芸術鑑賞

- 音楽や演劇などの全校鑑賞会
音楽鑑賞教室（5年）、演劇鑑賞（6年）
- 芸術鑑賞の目的
本物に出会い、鑑賞することで豊かな感性を磨く。

Oike フェスティバル

- 中学校「Oikeフェスティバル」への6年生の参加。
中学生の文化展示鑑賞。9年生の体育演目鑑賞。
合唱コンクールへ御所南小、高倉小との合同参加。
- フェスティバル参加の目的
小中一貫教育の推進。6年生の中学生との交流展開。
御所南小、高倉小と6年生同士の交流と絆を深める。





御所東小学校は、地域と共に未来を創る 「コミュニティ・スクール」として歩み続けます



御所東小学校が開校する平成 30 年（2018 年）は、明治 2 年（1869 年）の番組小学校開校から 150 年目の節目にあたります。

明治の先人たちによる番組小学校の創設と同じく、御所東小学校は開校前の学校づくりの当初から、地域住民の皆様の参画を得て今に至ります。まさに 150 年の時を経て 21 世紀に蘇った番組小学校といえます。



これまでの経過

平成 23 年 7 月

「御所南小学校未来構想検討委員会」を設置。御所南小学校の児童数増加に対し春日学区、銅駄学区を含む 9 学区の代表が対応策を協議。

平成 26 年 12 月

御所南小学校未来構想検討委員会において、元春日小学校跡地に春日学区・銅駄学区を通学区域とする新しい小学校を整備する方針を決定。

平成 27 年 1 月

春日学区、銅駄学区の代表による「開校準備会」を設置。

平成 27 年 3 月～

開校準備会が中心となり、意見交換会を継続的に開催。めざす子ども像、教育の重点、学校運営協議会、PTA 活動、通学の安全、子どもの活動等、住民主体で検討。

これまでの主な取組

【めざす子ども像】

「どのような子どもを育てたいか」の意見交換を実施。住民の意見を分類した結果、「探究する子」「考える子」「読解力のある子」「コミュニケーションができる子」「思いやりのある子」「自己肯定感のある子」「向上心のある子」「多様性を認められる子」「バランスのとれた子」の 9 つとなり、新しい時代に必要な資質・能力と重なるものでした。これを踏まえ御所東小学校の教育の柱を決定。

【教育の重点】

「どのような教育に重点を置きたいか」の意見交換では、御所南小学校で成果をあげてきた「読解力育成」や「英語教育」「ICT の活用」への期待が多く、これらを踏まえ教育の重点を決定。

【校名、校歌、校章の決定】

平成 27 年 1 月

新しい小学校名を地域住民に募集。

平成 28 年 3 月

両学区の検討の結果、新校名案は「御所東」に。御所南小学校未来構想検討委員会からの要望書を踏まえ、京都市会の議決を経て正式に決定。

平成 28 年 4 月

校名決定に引き続き、校歌のフレーズと校章のデザインのアイデアを募集。それを踏まえ制作。

【フレ登校】

住民の意見を踏まえ、開校準備会で暫定通学路を作成。それをもとに保護者と子どもで実際に登校の予行演習を行う「フレ登校」を実施。開校に向けて、より安全な通学路となるよう検討。



【子どもの活動】

開校前から子どもたちの交流を深める活動実施の要望を受け、春日・銅駄学区の児童を対象に、教育の重点でもある英語教室・読解教室を地域在住のボランティア講師等により実施するとともに、プログラミング教室を、市立洛陽工業高校・京都工学院高校の生徒を講師に開催。

また、未就学児とその保護者を対象にした子育てセミナーの他、教育アドバイザーのジェフ・バーグラント先生による講演会や、子どもも大人も楽しめるバイオリンコンサートなど、子どもはもとより、保護者、地域の方々の交流を深めるさまざまな企画を実施。

【PTA 活動】

子どもが健やかに育つ環境づくりに向け、クラス委員がコーディネーターとなり、PTA 活動にだれでも気軽に参加できる「ボランティア制」の導入を検討。

【学校運営協議会設置に向けて】

これまで地域の皆様と共に進めてきた学校づくり。開校後は「学校運営協議会」がその中心としての役割を担います。地域と共に未来を創るコミュニティ・スクールとして、御所東小学校は、これからも地域の皆様と共にある学校づくりを行ってまいります。